



NEWS !

夏季デフリンピック競技大会が日本で開催されます。

第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025が、11月15日～26日の12日間開催されます。世界70～80か国・地域から約3,000人の選手が参加し、21競技で競います。

日本での開催は初めてで、1924年にパリで第1回が開催されてから100周年の記念となる大会とのことです。



## 解説

## デフリンピックとは

国際ろう者スポーツ委員会が主催し、夏季と冬季それぞれ4年ごとに開催されるデフアスリート（聴覚障害を有するスポーツ選手）を対象とした国際総合スポーツ大会。

「デフリンピック」の名称は、2001年に国際オリンピック委員会（IOC）が承認しています。

大会エンブレムは、人々の繋がりを意味する「輪」がテーマ。デザイン原案は、国内唯一の聴覚障害者、視覚障害者のための大学、国立大学法人 筑波技術大学の学生が制作したそうです。

## ポイント

## 誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会の実現

大会ビジョンとして、障害のある人とのコミュニケーションや心・情報・街のバリアフリーをさらに推進する。また、互いの違いを認め、尊重し合い、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会づくりをめざしています。

前月、人間の欲求の学説を紹介しました。誰もが、生存・安全を超えた、他者の評価や尊敬、自分の理想や可能性を追求して自己充足していきます。

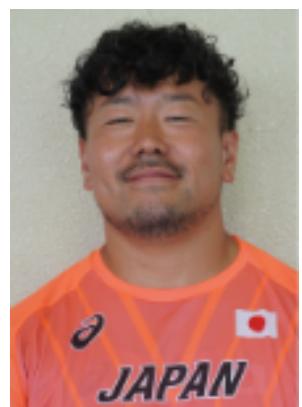
デファスリートの活躍を応援します！

## ひと言メモ

## デフリンピック金メダリストに来学いただきます。

前回のブラジル大会に出場し、ハンマー投げで金メダルを獲得した石田考正選手に、10月1日、藤田医科大学を訪問いただき、教職員・学生向けに「デフリンピック金メダリストが語る、目標のかなえ方」について講演をお願いしています。石田選手は、東京大会にも出場が内定しています。当日の様子は、HPで報告します。

日頃から医療や医学教育に関わる教職員、医療職を目指す学生にとって、石田選手の講演を聞き、誰もが目標に挑戦できる社会づくりの理解を深められればと考えています。



石田 考正選手

## 連絡先

藤田医科大学 地域共生社会推進センター

センター長 堀江 裕

【事務局】 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

藤田医科大学2号館3階 学事部学事課

0562-93-2653 c-inclusive@fujita-hu.ac.jp

URL: <https://www.fujita-hu.ac.jp/c-inclusive.html>